

マゴウ、テリハノイバラの生育が旺盛となり、その下でウンランが生育しており、7月13日生育は良好で多数の開花が確認できたが、7月19日から8月8日の間、降雨がなく、地上部が黄化した株が多く見られたが、ハマゴウの陰の株は干ばつの影響が少なかった。9月14日には再び開花が見られ、10月22日には再出芽した株も見られた。11月24日にはハマゴウが落葉した下に黄化したウンランが確認できた。1月26日にはほとんどの茎葉は枯死した。

#### 7 保護区以外の状況

#### (1) ナミキソウ自生地

4月2日から出芽した株が確認され、6月17日に開花が見られた。高温少雨の時期に葉の黄化が見られた。12月14日には、ほとんどの株の地上部が枯死した。

#### (2) デンジソウ自生地

4月23日、東予地域の4か所で確認。3か所が水田不耕作地、1か所が水田栽培後のほ場。雑草の下、水田の畔に自生している。12月14日には、気温の低下により葉が茶褐色となり、確認できる株数も少なくなった。

## 令和3年度ニホンカワウソ無人カメラ調査

### 生物多様性センター

国の特別天然記念物であり、本県の県獣に指定されているニホンカワウソは1975年に宇和島市九島で捕獲された個体以降、確実な生存情報はなく、愛媛県レッドデータ

ブック(2014年改訂)では絶滅危惧1類と評価されている。なお、環境省はニホンカワウソを絶滅種として判断しているが、2012年以降、センサーカメラを設置し、撮影データの確認を継続している。令和3年度、ニホンカワウソもしくはニホンカワウソの可能性のある哺乳類は撮影されなかった。

### 令和3年度 ニホンカワウソ無人カメラ撮影状況

令和3年4月1日～令和3年6月28日

カメラ ナンバー	場 所	確認された哺乳類 種数	確認された鳥類 種数
1	南宇和郡愛南町(山中の溪流)	—	0
2	南宇和郡愛南町(半島先の河口部)	イノシシ	1

令和3年10月26日～令和4年3月31日

カメラ ナンバー	場 所	確認された哺乳類 種数	確認された鳥類 種数
1	宇和島市(半島の道路近くの水路)	ハクビシン、イタチ、 タヌキ、ネズミ	4
2	宇和島市(半島の廃集落の水路)	イノシシ、ハクビシン、 イタチ、タヌキ、ネコ	5